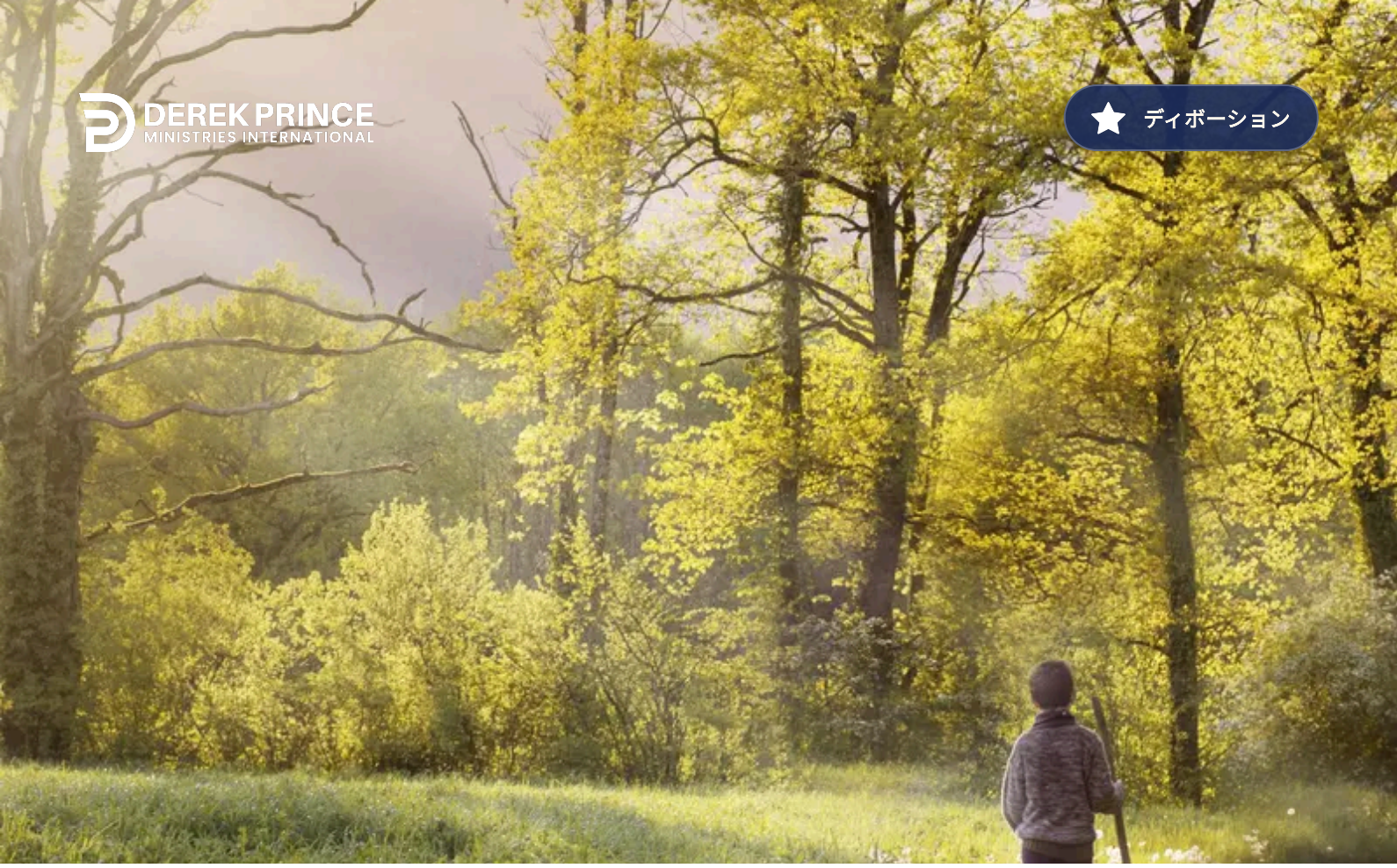

DEREK PRINCE
MINISTRIES INTERNATIONAL

ディボーション

前進する

私のメンバー、私の体の部分は、神の奉仕と栄光のために神に捧げられた義の器です。



日 67/365
Declaring God's Word
著者 デレク・プリンス

私たちは選択しなければなりません。何かが私たちをコントロールしようとして、罪か義のどちらを選べと迫ってきます。義を選ぶと言えば、私たちは試されます。サタンは成功するチャンスがある限りは、あきらめないのです。

人が試され、誘惑されるとき、サタンは誘惑できないとわかるまで誘惑し続けます。サタンは賢いので、誘惑できない人に対して時間を浪費するようなことはありません。しかし、もし私たちの内に二心や迷いがあったらな、サタンはそれを利用します。私たちはしっかりとした決断をしなければなりません。

> あなたがたの肉の弱さのために、私は人間的な言い方をしています。以前あなたがたは、自分の手足を汚れと不法の奴隷として献げて、不法に進みました。（ローマ６：１９）

私たちが不法を選ぶなら、それは増大します。ますます不法に進んでいきます。多くの人はそのような経験があるでしょう。

不法に進むのではなく、「今はその手足を義の奴隷として献げて、聖潔に進ませるのです。」（ローマ６：１９）

信仰生活の中で立ち止まっていることは、ほぼ不可能です。前進するか、後退するかのどちらかです。つまり、聖潔に進むか、反抗に進むかのどちらかです。

感謝します、イエス様、あなたの十字架での勝利に。私は義の奴隷として自分を捧げ、私の身体の部分である私の器が神のために、そして神の栄光のために奉仕する義の道具であることを宣言します。アーメン。

© 2008 - □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□



ディボーション ★
原稿: WD-B097-067-JPN
最終更新日: 08 Oct 2026
ウェブサイト: Derekprince.com/ja/resources

© 2008 - デレク・プリンス・ミニストリーズ・インターナショナル・インク